

第3回 Zoom 例会 (2020.8.29)

◇本日もありがとうございました。急務の課題であり、皆様の必要感に合わせていらっしゃった提案でございましたので、とても充実したものとなりました。各教科の系統を掴むことが大事だなと痛感しました。また、社会科の実践を積まれていらっしゃった芝田校長先生の社会科の系統表は大変わかりやすかったです。本日も本当にありがとうございました。

◇昨日は大変お世話になりました。若い先生が熱心で刺激を受けます!!

◇今日の研修会誘っていただきありがとうございました！総則のことについて知識不足だなーって思ったり、こんな実践があるんだって知ったりできて、とてもいい学びになりました。これから僕もいろいろ授業で子どもたちが主体的に取り組んでいき、資質能力の育成につながるように授業改善をする必要があると感じました！次回の19日の研修会に参加でよろしくお願ひします！

◇今回もナイスなファシリテイトをありがとうございました。私が一番良かったと思ったのは、芝田先生や竹野先生、原田先生のお話をじっくり拝聴できた

ことです。特に芝田先生のご説明にあったOODAは、それぞれ！私がしよう
としていることは！と、拍手を送りたくなりました。皆さんからもステキなキ
ーワードを沢山いただき、感謝しています。「主体的にって？」「入り口を増
やす！」「何のために！」「子どもの姿を観る！」

若手の先生方が意識して頑張っていらっしゃるのが嬉しかったです！来月もよ
ろしく願いいたします。

◇資質・能力（コンピテンシー）ベースは「子供」が主語の教育への転換である
ことを再確認しました。私たちの授業観も学習者主体、子供の視点でなければい
けません。子供が何ができるようになるのか、子供がどのように学ぶかという視
点をもって授業をデザインしたいです。芝田代表が提案した社会科の資質・能力
の一覧は、大変参考になりました。他教科でも作成することで、学年の系統性
（学びの連続性）や構造がわかり、授業デザインを見直すことに役立つと思いま
す。協議の中で、「主体的に学習に取り組む態度」をどう育てるか、という話題
に関心を持ちました。キーワードは「問いを見出す力」だと考えました。そのた
めに、子供と問いをつくりだす学習過程を大切にしたり、振り返りを重視したり

することが重要だと思いました。先生方のお話から、視野を広げることができました。ありがとうございました。

◇育成を目指す資質・能力について、話題提供をする場をもらい有難かったです。これまで管理職として、学校経営や組織マネジメントという視点から、いわば外から学級づくりや授業づくりをみてきました。今回、講師という立場から、単元から授業をつくっていくという16年ぶりの機会を得ることができました。この度の学習指導要領が求める資質・能力の根基や経緯を調べると、2020年代を生きる子どもたちに、何としてでも身に付けさせたいという強いメッセージを感じました。

今回、社会科の資質・能力の一覧を作成する中で、学年間の関連や連続・発展する力が分かりました。（資料を参照してください。）

授業をつくる時、どうしてもその単元か本時を見ていく傾向がありますが、まずは、全学年の関連をみて、本単元が当該学年の資質・能力の育成のどこに位置付くのか見て欲しいとおもいます。繰り返しますが、作成する中で気付くことの方が大切のように思います。指導者から教えてもらったり、書籍等で学ん

だりするのもよいですが。この過程があるのとないのでは、授業づくりに大きな差が出るような気がします。

また、新型コロナウイルスの拡大により、個別最適化された学びの導入に拍車がかかりそうです。一人ひとりにタブレット端末が与えられたら、同教科同単元だけど異内容、あるいは同教科だけど異単元・異内容も可能になるかもしれません。できる子は、自力でどんどん進み、学校で学習する意味をはき違えるかもしれません。いずれにしても、目指す資質・能力の育成をWithコロナであっても疎かにしてはならないし、結果的に無視されることになってはならないと思います。